

医療機能評価受審

「病院機能評価」は、1997年から日本医療機能評価機構の事業として開始されています。その目的は、病院における医療の質を高めることにあり、病院の規模に応じた役割・機能に対してどの程度整備がなされているかを、第三者の目から判断する取り組みです。2010年9月3日現在、全国で2558の病院が認定されています。

当院は、2005年10月に同機構による病院機能評価の初回認定を受けました。認定の有効期限が5年間となっていることから、2010年10月にむけての更新審査を受ける必要があり、7月22日と23日の2日間にわたって、同機構から派遣された3名のサーベイヤー（評価調査員）による訪問審査を受けました。

審査内容について

審査内容についてはVer.6.0での受審となりました。評価項目としては以前の内容に、「地球環境への配慮」、「医療情報システムの管理」、「子育て支援などの離職防止・復職支援」、「院内暴力などへの対応」などが追加され、さらには再認定の受審の場合は、認定期間中の質の維持・改善に向けた努力を評価する項目が導入され、医療の質のレベルアップを求められるものとなりました。

受審への準備

受審にあたっては、今まで行ってきた医療についての再検証を行う機会と考え、昨年12月に医療機能評価委員会を発足させ活動を開始しました。当院は回復期リハビリテーション病院として、チーム医療の充実を目指している病院ですので、各職種の実践している具体的な診療行為の確認とマニュアル作成・修正を行い、各職種間でのマニュアル類の共有化を行いました。また、日常的におこなわれ

ている診療行為のみではなく、病院理念、患者の権利、倫理方針の再確認を行い、病院のあるべき姿を共有する作業を行いました。

受審による成果

最終的な審査結果はまだ報告されておきませんが、今回の受審

で、訪問審査時にサーベイヤーから指摘された医療の安全性への配慮、診療内容、療養環境の整備、患者サービスの質改善などの事項については、職員一同速やかに意欲を持って継続的に改善に取り組んで参りたいと心しております。

アドバイスのひとつとして、本情報誌「輝ネット」に基本理念と方針を継続掲載すべきとの指摘がありました。

当法人の基本理念と方針については、ホームページへの掲載、病院玄関への掲示、職員研修および職員が基本理念と方針の書かれたカードを常時携帯するなどにより周知を図ってまいりましたが、加えて情報誌にも掲載し院外への周知を更に強化すべきとの指摘です。さっそく、アドバイスに従い本号より継続掲載いたします。

まとめ

病院機能評価の受審を通じて、病院の現状を客観的に把握することができましたし、さらなる改善についての問題点が明らかになりました。これからも、病院機能の向上に努力して参りたいと思いますので、皆様方には、引き続きご指導・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



初台リハビリテーション病院
院長 石原 茂 樹

病院と在宅ケア施設の合体

医療法人輝生会は初台リハビリテーション病院と船橋市立リハビリテーション病院の管理運営をおこない、別に医療法人財団 新誠会では在宅総合ケアセンター元浅草、在宅リハビリテーションセンター成城を運営してきました。脳血管疾患などの集中リハビリを回復期リハビリテーション病院で受けた患者さまが、退院後も一貫した維持期リハビリテーションサービスをうけることができることが望ましいところですが、いまだ退院後のサービスを提供する

施設は不足している状況です。その体制を整備するために、本年12月からは、在宅診療・リハビリテーションを支援する在宅総合ケアセンター元浅草、在宅リハビリテーションセンター成城を同一法人化して、充実したリハビリテーションサービスを提供できるようにしてゆく予定です。病院のみならず、患者さまが住み慣れた地域で安心して生き生きとした生活がおくれるよう在宅ケアをふくめ、フォローしてゆくことを実現したいと考えております。

在宅総合ケアセンター 元浅草

(たいとう診療所・通所リハビリこころいき・訪問看護ステーションわか・居宅介護支援事業所)

台東区は23区内で最も小さい街で、約10km²程の大きさです。人口は約15万人、高齢化率は23区内で一番高いのが特徴です。当センターでは地域で生活する対象者が健康かつ健全な生活を送ることができるように、健康増進および健康管理を行いつつ、高齢および障害を抱えながら生活しているご利用者に対して、適切なりハビリテーションサービスをご提供しています。



在宅リハビリテーション センター成城

(成城リハビリテーションクリニック・通所リハビリ・ディサービス成城・居宅介護支援事業所)

世田谷区の西端に位置し、小田急線の成城学園前と祖師ヶ谷大蔵のほぼ中間点にあります。

高齢または障害のある方々が住み慣れたわが家でその地域の人々とともに健やかに生き生きとした生活がおくれるよう医療・福祉の両面から、総合的なリハビリテーションをご提供しています。



栄養科便利 嚥下食用「やわらか みたらし餅」

お正月に向けて嚥下食用のお餅を作ってみてはいかがでしょうか。家庭で簡単にできるお餅の作り方を紹介します。

【材料】

※この分量で5人分できます。

(415kcal / 1人分 83kcal)

水 …………… 300cc
 砂糖 …………… 40g
 醤油 …………… 30cc
 みりん …………… 9g <大さじ1/2>
 片栗粉 …………… 18g <大さじ2>
 トロミパーフェクト …………… 2g



(株)日清オイリオ
 トロミパーフェクト
 Pureを使用

注) 他のとろみ剤を使用する場合は、とろみ具合が変化してしまうためご注意ください。

絹豆腐(または木綿) …………… 100g
 白玉粉 …………… 15g
 お粥 …………… 35g

【作り方】 みたらしあんを作る

- ①水、砂糖、醤油、みりん、片栗粉を鍋にいれ火にかける。
- ※ポイント※ 片栗粉が鍋底にたまりやすいので、よくかき混ぜながら火にかけましょう。
- ②片栗粉でとろみがついたら、火から外しトロミパーフェクトを入れ、みたらしあんを安定させる。(トロミを入れることで時間が経ってもあんがゆるくなることなく、喉の通りがスムーズになります)

【作り方】 餅を作る

- ①豆腐・白玉粉・粥をミキサーでまわす。
- ②絞り袋(またはビニール袋)に入れ、沸騰したお湯の中に10円玉くらいの大きさにしぼりだし、浮いて来たらペーパーで軽く水分をきる。
- ※ポイント※ おたまの中に少しお湯をはり、中で一度形成したのち、お湯の中へ入れていくとくっつきにくくなります。
- ③器にあんをしき、その上に餅をいれ、更に上から、みたらしあんをかける。
- ④出来上がり。冷めても美味しくいただけます!!



完成



テクノエイド委員会より

初台リハビリテーション病院のテクノエイド委員会では、患者さま、ご家族からの質問を受けてお答えする「BOX」を設置しております。皆さまのご質問に対して「Q&A」という形で、1階テクノエイドショップ付近にポスターを掲示することでご返答しております。今回は、その中から3つご紹介いたします。

Q1 賃貸住宅なので、風呂場の手摺りが付けられないのですが、壁や風呂の縁につかまるだけでは上手くお風呂に入れません。何か良い物はないでしょうか？

A1 取り付け、取り外しが簡単な吸盤付き手摺りがあります。

【商品：クイックバー】
つるつるした頑丈な平面であれば取り付け可能です。
取り付け確認機能付きです。
※介護保険購入対象外になります。



Q2 トイレに行く際に何も掴まる所がなくて困っているんです。

A2 丈夫で、簡単に設置可能な手すりがあります！！

【商品：バディー】
様々な用途に応じて形式に種類があります。
介護保険レンタル対象になります。



○立ち上がり時に使用



○歩行時に使用



Q3 旅行に行きたいのですが、持ち運びが可能なリフトはありますか？

A3 車の昇降時に利用出来るリフトがあります。

【商品：すけっと】

ハンドルを回すことで、身体を持ち上げたり方向転換できます。

女性1人の力でも可能です！

※介護保険購入対象外になります。



初台リハビリテーション病院 テクノエイド委員会
作業療法士 福田、ソーシャルワーカー松永



初台リハでの納涼祭

記録的な猛暑が続いていた8月29日に、当院の夏恒例のイベントである、納涼祭が開催されました。当日は、暑い中大勢の方々にお越しいただき、本当にありがとうございました。普段は制服を着ているスタッフも、この日だけは甚平や浴衣に着替え、病院も縁日の雰囲気になっていました。屋台は、焼きそば・綿菓子・フランクフルト・ポップコーン・カキ氷等の他、縁日の露店を再現した射的コーナー・輪投げなどがありました。イベントは、太鼓・男みこし・女みこし・ダンス、盆踊りが開催されました。

普段の病院の雰囲気ではなく、縁日の雰囲気を皆さま楽しんでいただけましたでしょうか。納涼祭を通して、患者さま・御家族の笑い声や笑顔に、私達スタッフも元気をいただきました。

患者さま・御家族、ボランティアの方に御協力をいただき、事故もなく無事に納涼祭を終えることができました。

本当にありがとうございました。来年もまた皆さまの多くの笑顔にお会いできる納涼祭になるよう、スタッフ一同頑張っていきたいと思っております。

初台リハビリテーション病院
ソーシャルワーカー 長谷川



船橋リハでの夏祭り

8月28日土曜日に船橋リハビリテーション病院で毎年恒例になりました夏祭りが執り行われました。

今年は全病棟が開棟となり前年度よりもさらに多数の750名を超える患者様ご家族様の参加があり盛大な夏祭りとなりました。ボランティアのスタッフも100名を超え船橋リハのスタッフの団結力を感じました。



1階リハ室の中央に太鼓を2台、その両脇に白い見事な「まとい」を2基設置しそれを囲んでみなで盆踊りを踊りました。また新人スタッフによる太鼓の演舞も見事なものでした。会場は多くの参加者で身動きがとれないほど混雑した場面もありましたが、スタッフが皆さんの安全を守りつつ一緒に祭りを楽しみました。

来年はさらに入院患者数も増え、外来訪問の患者様ももっと増えることは確かです。企画運営をもっと練り、安全で安心して楽しめる夏祭りが開催できますようスタッフ全員一丸となって取り組みたいと思います。

船橋市立リハビリテーション病院
2010年度夏祭り実行委員長 阿部施子

ぜひ お試しください。

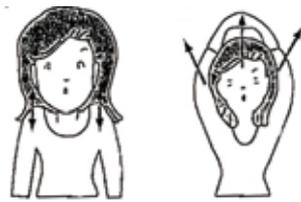
今回の秋号はいかがでしたか？

お正月が近づいていますね。嚙下餅の記事を参考に自宅でも安全に楽しく食事をしていただけるよう今回は食事前の嚙下体操のご紹介です。

走る前に準備体操をして捻挫などを防ぐように食べる前にも嚙下体操をする事で誤嚥を防ぐ事ができます。



② 首をゆっくり左右前後に回す



③ 肩の上げ下げ、背伸び

【嚙下体操】

- ① 深呼吸
- ② 首をゆっくり左右前後に回す ※図参照
- ③ 肩の運動 ※図参照
- ④ 両手を上にあげ背筋を伸ばす運動
- ⑤ 頬の膨らましへこまし
- ⑥ 舌を前後左右上下
- ⑦ 構音練習 (パパパ・タタタ・カカカとゆっくり言う)
- ⑧ 深呼吸

初台リハビリテーション病院
言語聴覚士 出村

情報誌へのご意見がありましたらメールにてお寄せください。



初台メールアドレス→ info@hatsudai-reha.or.jp
船橋メールアドレス→ info@funabashi-reha.com